

29. 菜の花育成を通して E D S の教育の園児・学童へ体験学習支援

グループ名 菜の花プロジェクト支援チーム
代 表 者 中西 啓

① 活動の目的

小学校、幼稚園で取り組み、実施されている「持続可能な開発のための教育（E S D）」の中で、地球温暖化の原因を学びつつ、循環型社会を体験学習する試みに呼応し、シニアグループが支援活動をしています。

冬期では、菜種の栽培（畝作り、種まき、間引き、定植、草取り、施肥）をしました。春期には菜の花の香りをたっぷり観賞する菜の花祭り（菜種油の天ぷらで自然の恵みを一杯受けて各種イベントの実施）をし、ミツバチの観察などもしました。

初夏には刈取り、乾燥、そして脱穀。昔ながらの「とおみ」を使った菜種の採取、搾油実験。

晩秋には薬師寺、春日大社、東大寺に「灯明」用の菜種油の奉納も行い、講話を父兄と共に聴きました。園庭や校庭外の佐保山、北永井の転耕田（F：フィールド）での校外活動の支援をしました。子供達と一緒に土に触れ、少しは汗をかき、菜種油は食用に、明かりに、使用済み油はバイオガソリンに使える実験を見学し、採種後の枯れ枝葉は肥料に戻す循環型の重要性を学ぶことや各種作業の支援をしました。これらの授業は順次、菜種の種と共に次年度の園児・児童に引き継がれ継承されます。

今後我々は、毎年繰り返し支援活動を続けて、この種の体験自然学習の持続と広がりにも対応すべく広報活動もし、子供たちの情操教育の支援をいたします。

② 活動の概要

活動場所：小学校——鼓坂北小学校（佐保山F）、鼓坂小学校、東市小学校、（北永井F）

幼稚園——鼓坂北幼稚園、鼓坂幼稚園、東市幼稚園、六条幼稚園

奉納先——東大寺、春日大社、薬師寺

①畝作り、種まき作業	9/25～10/11	5回	延14名の参加支援
②間引き作業	10/3	1回	2名 //
③移植作業	10/24～11/9	5回	21名 //
④除草・追肥作業	12/1	2回	10名 //
⑤菜の花祭準備、見守り	4/13～4/26	3回	22名 //
⑥刈取り作業	5/20～6/3	6回	30名 //
⑦脱穀・搾油作業	6/7～6/27	6回	32名 //
⑧油奉納立会い	10/19～7/8	4回	11名 //
	【合計、年間	32回	延142名】

【作業時間はAM9時～12時を基準に活動しました】

③決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
支 出	・菜種の芽だし用 苗床土、肥料	8,720
	・草刈り機（1台）29,800、備品8,874	38,674
	・除草用具（カマ、クワ、手袋、レーキ）	2,874
	・育苗用具（ジョロ、ネット類）	10,830
	・交通費（参加者の資材運搬等活動時ガソリン） 平均32回*平均300円	9,600
	・イベント学習時の飲物、備品 142人（32回分）*100円	14,200
	・菜種栽培用畑地とイベント会場の場所提供代金	20,000
支 出 合 計		104,898

畝作り、種まき作業（鼓坂北小学校）



循環型自然環境の授業（鼓坂北小・幼稚園）



間引き作業時の屋外教室（鼓坂北小・幼稚園）



菜の花観賞と環境学習（鼓坂北小）



満開の菜の花（鼓坂北小・幼稚園）



菜の花祭でのイベントと学習（佐保山F）



刈取り作業（北永井F）



刈取り後の観察集合（六条幼稚園）



乾燥後の足踏み脱穀（六条幼稚園）



脱穀時の「とおみ」選別（六条幼稚園）



菜種油 搾り実験 (六条幼稚園)



菜種油で動くジーゼル車 (鼓坂北小)



菜種油の灯明実験 (鼓坂北小・幼稚園)



菜種油によるテンプラ料理 (鼓坂北小・幼稚園)



灯明用菜種油の奉納 (春日大社)



灯明用菜種油の奉納 (薬師寺)

